

人はわかうない

仰よく よく笑うあう にこくのひばり

はいい

ひばり<sup>レ</sup>付 三人が交替で二人で乗たり 林

てくわ着たり

甘任の仰のいい字は ありあり見られたいが

責任者 年令の差をこえていゝ陽気な三人組

は 二れから太たうしやだ

一方 がくく てくういへルぐーかいる

小さい声でよくわかうあう

私の体を人形のようた 無言でみつあひ

こつ ちむりと動かす

体をふく力がかかりだ

このさむしげな人とらんとおしえいと

場所をかへて話をしたか 神果の何とほ

わかうあう

明るく陽気なのと 暗くいじけている

この差はどこからたうう

人のまつ情威の差は環境ばかり

そう言えば夜庭と紅葉あそびのあふれと

言っ  
ていた

一般的に広く世間の厚みかもし出さない

幼りていゝ世間は多いが 本質 仕事と

両方の理解が深いとやうていへないという

ことかもし出さない 暗いほうなんだ

来週は来よう予定

彼女の気持ちとほとやうか 私の堪え方も

この必要と見えに来た ぶつかしい

気持ちと人々関係でどうもなうたいたい

2022  
6/17